

第1号様式（第7条関係）

上越市収益力・生産性向上推進補助金交付申請書

令和●年 ●月 ●日

(宛先) 上越市長

(申請者)

郵便番号 943-8101
住所(所在地) 上越市木田1-1-3
事業者の名称 上越商店
代表者役職・氏名 代表取締役 上越 太郎
電話番号 025-526-5111

次のとおり上越市収益力・生産性向上推進補助金の交付を申請します。

1 補助対象事業（該当する□にレ点を記入してください。）

(1) 事業枠区分

通常枠事業 特別枠事業

(2) コース

- 新商品若しくは新サービスの開発又は新市場開拓コース
 デジタル化及びDXの推進コース
 設備投資による生産性向上コース
 働き方改革及び人材確保支援コース
 専門家による伴走支援コース

申請する「事業枠区分」、「コース」に
☑を入れてください。

2 申請内容

目的及び内容	別紙事業計画書のとおり
完了予定年月日	令和●年 ●月 ●日
事業費 (税抜額を記載)	1,500,000 円 (うち補助対象経費 1,300,000 円)
同上算出基礎額	補助対象経費 (1,300,000 円) × 補助率 : 2/3 = 対象金額 (866,666 円)
交付申請額	750,000 円 ※補助金額は、1,000円未満切捨てとする。 ※対象金額が限度額を超える場合は、限度額を記載する。

第2号様式（第7条関係）

誓約書

（宛先）上越市長

該当する□にレ点を記入してください。

項目	確認欄	
	はい	いいえ
上越市収益力・生産性向上推進補助金交付要綱第3条に規定する補助対象者の要件を全て満たしています。	はい <input checked="" type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
国、都道府県、市区町村その他公的制度による補助金等の交付を受けていません。	はい <input checked="" type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
本補助金で取得した設備、物品等は、市長の承認を受けることなく、交付の目的外使用、譲渡、貸付け、処分等をしません。	はい <input checked="" type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
市税の滞納がないことを確認するため、産業政策課の職員が納税状況を閲覧することに同意します。	はい <input checked="" type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
上越市暴力団の排除の推進に関する条例に基づく暴力団の排除のための誓約 (1) 補助金を暴力団の活動に使用しません。 (2) 補助金の交付の対象となる事業により暴力団に対し利益を供与することはありません。	はい <input checked="" type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
（特別枠事業で申請する場合） 本補助金の趣旨を踏まえ、持続的な賃上げの実現に向けた環境整備に努めるとともに、生産性又は収益力の向上の強化に取り組めます。	はい <input checked="" type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>

上記事項の誓約及び申請書類の内容は、事実と相違ありません。
これに反した場合は、交付された補助金の全部又は一部を返還します。

令和●年 ●月 ●日

事業者の名称： 上越商店

代表者役職・氏名： 代表取締役 上越 太郎

第3号様式（第7条関係）

事業計画書
（上越市収益力・生産性向上推進補助金）

事業名 （事業の概要）	上越産発酵素材を活用した新商品「発酵熟成ソース」の開発と全国EC展開による収益力強化プロジェクト
本社又は主たる事業所若しくは事務所の所在地	〒943-8101 上越市木田1-1-3
事業者の名称及び代表者役職・氏名	上越商店 代表取締役 上越 太郎
連絡担当者	（部署）総務部 （氏名）上越 次郎 （連絡先）電話 025-526-5111 FAX 025-526-**** メール ****.*@**.***

1 申請者の概要

主たる業種	飲食サービス業	常時雇用する従業員数	●人
資本金又は出資金	●●●●●円	設立年月日	令和●年●月●日

2 企業等の将来ビジョン、事業の実施背景、動機

<p>当社は創業以来、地元食材にこだわった飲食提供を行ってきたが、近年の原材料費高騰および光熱費の上昇により利益幅が圧迫されている。</p> <p>将来ビジョンとして「上越の食文化を全国へ届ける外販事業の確立」を掲げ、店舗内飲食に依存しない第二の収益の柱を構築したい。特に、上越市の「発酵」をキーワードに、自社独自の技術を用いた保存性の高い商品を開発することで、物価高騰に負けない高付加価値経営へ転換する。</p>

3 事業の目的、期待する効果

上越の「地酒の酒粕」を使用した新商品を開発し、自社 EC サイトで全国販売を行う。

- ・ 収益力の向上：店舗外売上の比率を現行の 5%から 30%へ引き上げ、利益率の高い直販モデルを確立する。
- ・ 賃上げの実現：本事業による利益増を原資とし、全従業員の雇用者給与等支給額を 2.0%以上引き上げることで、人材の定着と生活安定を図る。

4 事業の内容

- ・ 商品開発：地元発酵素材を用いた新ソースの試作、成分分析、および保存テストの実施。
- ・ パッケージデザイン：贈答用にも対応したブランドロゴおよび包装資材の設計。
- ・ 販路開拓：既存サイトを改修し、スマートフォン決済に対応した高機能な EC サイトを構築。
- ・ プロモーション：ターゲット層(首都圏の 30~50 代)へ向けた Web 広告の運用。

5 事業の成果目標（数値等の定量的目標を記載）

- ・ 売上目標：新商品による売上額を、発売 1 年目で年間 500 万円とする。
- ・ 賃上げ目標：雇用者給与等支給額を前年度比で 2.5%増加させる。
- ・ 生産性指標：従業員 1 人あたりの付加価値額を現状より 5%以上向上させる。

6 革新性・独自性の内容

上越独自の食文化である「雪室貯蔵」と「発酵」を組み合わせた製法は他地域にはない強みである。また、店舗の料理人が培った秘伝のレシピを商品化することで、既存の大量生産品とは一線を画す「専門店の味」という独自のポジションを確立する。

7 実現性・持続性の内容

- ・ 本商品の核となる「地酒酒粕」は、地元醸造業者と年間供給に関する基本合意を得ており、安定的な調達ルートを確保済みである。
- ・ 嗜好品としての流行に左右されにくい「日常使いの調味料(ソース)」というカテゴリーを選択しており、家庭内での常用(リピーター)化による安定した需要を見込んでいる。
- ・ 店主自らが開発責任者となり、IT に精通したスタッフ 1 名を EC 担当に専任化する。
- ・ 初年度は自社 EC サイトと店頭販売に注力し、2 年目以降は上越市内の観光施設や首都圏のアンテナショップ、3 年目以降は百貨店のギフト需要へと段階的に販路を広げる計画を策定している。

8 その他（地域貢献・波及効果等）

- ・ **地域貢献**： 原材料はすべて上越市内の農家および醸造業者から直接仕入れるため、本事業の成長が地域農業の活性化に直接寄与する。
- ・ **波及効果**： 商品パッケージには上越市の観光情報を QR コードで掲載し、商品購入者が将来的に上越市を訪れる「関係人口」の創出に貢献する。

9 事業の実施スケジュール

事業の完了予定 年 月 日	令和8年 12月 ●日
事業の実施 スケジュール	<p>4 月【交付申請】 4 月下旬に申請書提出(本事業の開始準備)</p> <p>5 月【交付決定・発注】 交付決定通知受領後、速やかに設備・システムの正式発注</p> <p>6 月【商品開発】 原材料の選定、試作品の製作、成分検査機関への依頼</p> <p>7 月【設備導入】 真空包装機および急速冷却設備の搬入・据付工事・試運転</p> <p>8 月【EC サイト改修】 サイト設計・デザイン、商品撮影、決済システム連動</p> <p>9 月【マーケティング】 パッケージデザイン確定、SNS 用プロモーション素材制作</p> <p>10 月【販売開始・広告】 新商品の販売開始。Web 広告およびインフルエンサーPR の運用</p> <p>11 月【効果測定】 売上データの分析、顧客アンケート実施、次期生産計画の策定</p> <p>12 月【実績報告・賃上げ確認】 事業費の支払い完了。給与引上げの実施。実績報告書の提出</p>